

43: 343-357. Puri, V., 1952 Placentation in Angiosperms. Bot. Rev. 18: 603-651.  
 Saunders, E. R., 1937 Floral Morphology. Vol. I. Cambridge.

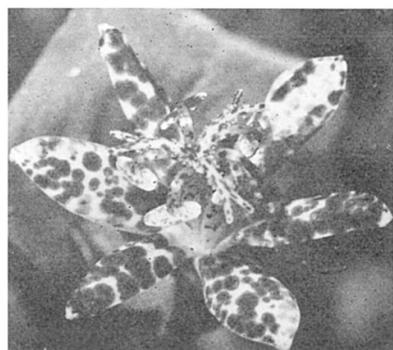
\* \* \* \*

アマ科植物の4種類について、花部形態を述べる。

アフリカ産 *Ochthocosmus africanus* とインドネシア産 *Ixonanthes icosandra* とは  
 合がくである。交互ふく瓦状のがく片には3本の葉跡が入り、花弁では1本である。  
*Ixonanthes icosandra* では花弁に対生する雄蕊の維管束に分生現象が見られる。中  
 軸胎座がインドネシア産 *Roucheria griffithiana* とブラジル産 *Hebepepetalum humiri-  
 folium* に見られ、*Ochthocosmus* と *Ixonanthes* では側膜胎座である。

*Ochthocosmus* と *Ixonanthes* とは花の解剖学的性質が他のアマ科植物とは異っている。  
 従来の成果及び本報告を考え合わせると、Hutchinson がしたように両属を *Ixo-  
 nanthaceae* として別科に扱って良いだろう。

○ホトトギスの一形（久内清孝） Kiyotaka HISAUCHI: A form of *Tricyrtis*  
*hirta* Hooker



*Tricyrtis hirta* Hook. f. *atro-purpurea*  
 Hisauchi. × 1.2.

千葉県、船橋市、三山(ミヤマ)といえば、  
 公式行政区域の名であるが、一般には習志野  
 として知られているところの一角に、二宮神  
 社といふ社があり、その裏山は林地である。  
 ここに写真のようなホトトギスの一形が自生  
 している。花がい片、花糸、柱頭に、黒紫色  
 の斑点が顕著である。これを移植しても、そ  
 の形質は多年にわたり変わらないから、安定し  
 ていると思われるが、おとぎないが、マ  
 ダラホトトギスの新称を提唱することにした。  
 紫斑点といふのは 興林会編、標準色鑑の 20  
 号に近い色彩である。なお産地は団地化しつ

つあるから遠からず消失するであろう。

(東邦大学薬学部)

*Tricyrtis hirta* Hooker forma *atro-purpurea* Hisauchi form. nov.

Perianthium, filamentum et stigma atro-purpureo-maculata.

Hab. Miyama, Funabashi, Chiba pref. (Typus in Herb. Univ. Tokyo.)